



山名一族会報

全国山名氏一族会
〒667-1311 兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡2365 法雲寺内
電話 0796-198-1115
FAX 0796-198-1116

第23回総会並びに山名会歴史講演会開催

去る平成28年11月13日(日)に知恩院門前の京都華頂大学「華頂ホール」を主会場に第23回山名会総会及び山名会歴史講演会を開催致しました。今回は山名会会員20名に加えて、一般聴講者60名程度のご参加をいただき、総勢で約80名の規模で開催出来ました。当日の概要についてご報告致します。

山名会再興から5年

山名会再興から5年が過ぎ、継続は力なりで会員数も55名を上回り少しずつでは有りますが確かな足跡を残しつつあります。今後も一歩一歩の歩みを重ねて会の発展を目指していきたいところです。

山名会の活性化の為には、先ずもって山名会の存在を人々に知っていただき、会の活動の理解者を少しずつでも増やしていく必要があります。そのような考えのもと、今回の山名会総会行事も昨年に引き続き、一般の聴講者参加を前提とした歴史講演会を中心行事に据え、それに

加えて史跡散策的な要素として知恩院参拝を加えた形の行事を



総会会場の京都華頂大学
会場の華頂ホールは少し奥まったところにあるので、今回も草山氏御寄贈の幟を旗印として活用。

計画致しました。

80名の「参加を得て

昨年、池坊短大の「心ホール」で行いました歴史講演会には山名会会員・一般聴講者合わせて120名近い参加者を得ましたので、今回も前回に並ぶ参加者の確保を目指して、京都周辺の新聞での告知記事掲載や、近隣の博物館・資料館等50ヶ所に当行事の案内ポスター掲示を願い、また昨年参加者への案内等、行事の広報や周知に努めました。が、残念ながら今回の参加者は80名程度で留まりました。

この参加者数が適正な数かどうかは分かりませんが、現在の



200名収容のホールに総計80名程の方がご聴講下さいました。

山名会の体制で対応するには結果的には、程いい人数だったのかも知れません。

紅葉日和に恵まれて

総会当日の11月13日は期待以上の好転に恵まれ、11月中旬にしては少し動く汗ばむ程の暖かな一日となりました。

会場の「華頂ホール」は知恩院への副参道である華頂道に面しているのですが、一般的には主参道である知恩院道の方が目を引く関係で、「華頂ホール」の場所が分かりにくかった方もあったようで、ご苦勞をお掛け致しました。

「華頂ホール」は華頂大学の4階にある大教室で、ホールの窓からは東山を背景とする紅葉が始まった知恩院境内が見下ろせ、その眺めだけでも一見の価値





華頂ホールからの眺め
知恩院方向を望む、東山を背景に三門が見える。

値は十分の有ろうかと思えます。

知恩院参拝

受付後の午後1時から歴史講演会に先だって、浄土宗の総本山である知恩院の参拝と見学を行いました。あいにく知恩院の本堂にあたる御影堂は大改修工事中で近寄ることは出来ませんでした。知恩院のお坊さんのご案内で、「知恩院の七不思議」はじめ、徳川将軍が参拝にいられた時だけ使用されたと言う「上段の間」等、普段は見学出来ない所も含めて見学させていただきました。



知恩院参拝の様子
熱心に説明役のお坊さんの話に聞き入る。参拝には48名が参加。



知恩院の紅葉
11月中旬で紅葉の始まりでしたが暖かな日差しの中参拝が出来ました。

知恩院は法然上人が興された浄土宗の格式高い総本山であると同時に、お堂の中では入れ替わり立ち代わりに善男善女が訪

歴史講演会

第一講

れては、ご先祖のご供養を受けている姿に、生きていく信仰の場でもあることを強く印象に残りました。
この知恩院参拝ですが、当初は30名も参加されるかどうか分からない？と踏んでいたのですが、最終的な参拝参加者は48名で、意外に皆さん関心が高かったことに少し驚きました。

歴史講演会の第一講は、華頂短大の伊藤真昭先生にお願いしました。講演を依頼させていただきました。



伊藤真昭先生の御講演
山名会行事に合わせて、山名禅高についての講演を考えて頂きました。



伊藤真昭先生の御講演
歴史講演開始の頃には席も徐々に埋まって来て一安心です。

だいた当初は(6月頃)ご専門の文献研究の見地からみた室町〜戦国〜江戸時代に通じる流れの中で、文化や世相に関する事について一般的・全般的なお話
が伺えればと考えていたのですが、山名会の行事の一環と言うことで、資料も乏しい中『秀吉家康期の山名禅高』と言う山名会ならではの演題をご準備いただきました。

山名禅高公と言えば毛利や豊臣の鳥取城攻めを巡るいきさつ等から、暗愚な総大将とか粗忽者とか、とかく世評は余り宜しくありませんが、講演では秀吉の鳥取城攻め以降、秀吉の軍門



町田泰宣先生の御講演の様子

に下った禅高ではあったが、秀吉とはある程度の距離をとりつつも、山名家のお家芸でもあった詩歌や連歌などの教養と文学的な才能を活かして、清和源氏の名流を受け継ぐ山名氏の存在感を十分に発揮して、秀吉・家康の御伽衆という立場を得て、山名家存続を確かなものとしてきた禅高公の姿を示して頂けました。

今回の講演を通じて、山名氏にとっての山名禅高という存在は、戦国時代に途絶えかけた武家・山名氏の命脈を建て直し、江戸時代から明治、そして現代まで続く山名氏八百年の流れを守った一番の功労者が山名禅高



数多くの絵を見せていただき解説願いました。

公であり、正に山名氏中興の一人と言わばべき存在であることを我々に知らしめて頂きました。

第二講

歴史講演の第二講は京都廬山寺の管長であり、自らも南画の画家で日本南画会の会長を務められていた町田泰宣殿下に中国から伝わった南宗画から日本的に変化発展して南画へと成長していった過程を数多くの南画の写真を示して頂きながらご教授願いました。

また、一般聴講の方の中には自らが南画や水墨画を嗜んでいらっしゃる方も多く、講演の後半部分ではその方々の質問に答える形で、南画に対する理解を深めることができました。

山名会 年次総会

歴史講演終了後、引きつづき「華頂ホール」にて山名会の年次総会を行い、前年度の会計・事業に関する報告や、会則変更を伴う山名会の組織改編及び人事案について協議願いました。

総会の報告につきましては、項を分けたいと思います。また詳しくは「第23回山名会総会資料」をご覧ください。

懇親会

予定されていた行事も滞りなく終了し、懇親会は山名靖英理事長のお世話で、円山公園内のちゃんこ料理「いころ」で行いました。

ご講演いただきました伊藤先生もご同席願ひ講演中には聞けなかった疑問点や質問を始め、戦国時代の戦談義まで暖かな鍋

のお陰もあって、話題は各方面へ大きく広がり、楽しく有意義な一時を過ごすことができました。

参加者数集計

今回の総会行事の最終的な参加者ですが次表のごとくです。

人数的にはある程度満足できる数字に思えるのですが、事務局として気になるのは山名会会員の参加者が少ないところです。企画内容が会員の皆さんの要望に沿った物になっていない面があるのかもしれない。

次年度以降の総会行事を考える際には、十分に検討したいと考えております。

山名会会員	20名
講師・事務局	7名
一般聴講者	30名
当日参加	23名
（事前申込者）	
総合計	約80名



第23回年次総会概要

事業報告

H27年度中の主な事業は左表の如くで、主に総会準備の為に活動を行っているような状況となっております。

H28年							H27年	年	
11月13日	10月25日	10月1日	8月下旬	7月24日	6月23日	4月21日	1月21日	11月28日	年月日
第23回総会 及び 山名会歴史講演会 京都・華頂大学にて 実施。参加者80名。	総会打ち合わせ	竹田城見取図復刻完成	多田神社萬灯会に協賛	総会打合 京都華頂大学	役員会 京都華頂大学	役員会 京都経済短大	副総裁・太田垣相談役 ・会長・理事長ご参列	山名会歴史講演会 京都・池坊短大にて 実施参加者120名	第22回総会 及び 山名会歴史講演会 山名寺住職葬儀
行事・事業									

会計報告

H27年度の会計につきまして
は左表の如くです。諸般の事情
により年度中には「山名第7号」

の発行準備が整いませんでした。
その為若干の次年度繰越金が増
加しています。
また、年度中には《山名会総

会祝い》、《山名会活動助成》
として会員各氏より30万ものご
寄付を戴きました。この場を借
りまして御礼申し上げます。

組織の変更

■現在の「会長・副会長」と「理事長」の二重の役職となって居る組織を理事長に一本化する。

■「会長」と「副会長」を廃して、常任理事の人員を増やし「副理事長」を新設する。

■常任理事の互選により、理事長・副理事長を推戴。

今総会で会長と理事長の二重の形になっていた組織を理事長制に一本化する事となりました。これに伴い会則も関連部分が若干変更となります。

また常任理事のメンバーを増やして常任理事会として山名会を引っ張っていただける事を希望しております。

常任理事にご就任いただきましたのは左記の皆様方です。

- 山名 年浩(大阪)
- 宮田 靖國(兵庫)
- 山名 靖英(京都)
- 草山 宏(神奈川)
- 山名 大介(名古屋)
- 山名 嗣宣(兵庫)
- 山名 一男(富山)
- 山名 正史(広島)
- 太田垣 大介(和歌山)

H28年度の事業及び予算

平成28年度の事業計画は、昨年発行が出来なかった会誌「山名第7号」の発行と、第24回となる山名会総会行事の計画が主な物になります。

また、第23回総会で決定しました組織改編後の役員選任(新理事長・副理事長)がまだ出来て居りませんので、早めに常任理事会を開催して新体制作りを進めなければなりません。

予算面では、まだまだ緊縮財政で儉約を心掛けねば成らないようです。事業内容を少しずつ充実させていって、協賛金頼みの体質から、徐々に幾分かの利益を生めるような会計に成長できればと願う次第です。

竹田城見取図好評です

第23回山名会総会の記念品として復刻作成した「竹田城見取図」ですが、地元地方紙にも取り上げられた関係で割りと好評を得ております。

この「竹田城見取図」ですが、元々は平成元年に山名氏と赤松氏の末裔200名が協力して、竹田城中腹に「山名赤松両軍陣没諸霊供養塔」を建立した折りに、竹田城らしい記念品として竹田在住の画家・中山東華氏が模写されていた竹田城古図の提供を受け、供養塔建立関係者分の200枚だけ作成したものです。

今では石垣しか残っていない

竹田城ですが、模写原本が描かれた弘仁2年(1556)当時の天守閣や各櫓等、日本一の山城と言われた竹田城の雄壮な姿が描き留められて居り、往時の竹田城の様子を知ることが出来る数少ない貴重な資料と言えます。

この度の復刻に際し、当時の印刷会社に問い合わせたところ、27年前の印刷なので版は既に処分されておりましたが、幸いにも完成見本品が数部保管されており、その中で程度の良いものを選んで原本と致しました。

本来の竹田城の姿を留めた当見取図を復刻し、山名会会員や竹田城及び但馬の歴史愛好家な



竹田城見取図多くの方々に好評を得ています。

ど、当見取図を貴重な資料として受け止めていただける方々の為にも、少し大目の四〇〇枚復刻することと致しました。

また、復刻の準備を進める過程で東華先生のお孫さんで、大阪を中心に活動されている中山市朗氏(作家・怪談蒐集家)とお会いすることも出来て復刻版見取図作成のご許可と、東華先生の御紹介文を一筆いただけることとなりました。



怪談蒐集家の中山市朗氏
officeichirou.comより

この竹田城見取図あと残数が一〇〇枚程度御座います。ご希望の方には一枚千円(送料別・400円)でお分けさせていただきますので、お申し込みは事務局までお願い致します。

山名寺住職一周忌

平成28年の1月に逝去した山名寺住職・吉川廣昭(法雲寺前住職、山名会初代事務局)の一周忌を去る11月23日に法雲寺恒例の天台大師報恩講(お大師講)に併せて執り行わさせて頂きました。

本来の命日から行けば、1月中旬の大寒の頃に一周忌を行うべきなのですが、雪と寒さが心



2ヶ月程早い一周忌となりました。



相應峰寺・法光寺のお二人に勤めて戴きました。

配な頃に檀家さんもお招きして一周忌を行うのもためらいますし、かと言って暖かくなる春まで先送りするのも気が進みません。

そこで2ヶ月ほど前倒しになります。法雲寺地元檀家の皆さんがご出席なさるお大師講に併せて、山名寺住職・吉川廣昭の一周忌も執り行わせていただいた次第です。

一周忌及びお大師講では、浜坂・相応峰寺様を導師に、豊岡・法光寺様を式衆にお願いし、山名寺の一周忌と法雲寺檀家各家の歴代霊位のご供養をお願い致



体験談に基づく法話をあつく語って頂きました。

しました。また、法要後には相応峰寺様に「葬儀・法事の重要性」や「位牌の持つ意味」等について、ご自身の体験談も交えながら楽しく法話を頂きました。お昼の斉食では、当番地区のご婦人がご調理いただいた大師講定番の納豆汁をいただきましたが、共に語らい、杯を重ねては、出席者の皆さんから山名寺との思出話等、色々とお話を聞かせていただきました。おかげで山名寺の事が少しは偲べたのではないかと思っています。今回の一周忌実施につきまして、お檀家の皆様には準備の段階からお世話になりました。深

く深くお礼申し上げます。

第23回総会会計中間報告

第23回総会の会場としてお借りした華頂ホールの使用料金請

求が未だ届いて居りませんので正確な額ではありませんが、会場使用料を6万円と想定して中間の会計報告をさせていただきます。

また、今回の総会では参加費納入に際しまして、厚かましくも協賛金協力のご無理を申しま

した点、お詫び申し上げます。しかしながら皆様方のご協力に依りまして、本会計からの助成金支出も予算（20万円）以下に抑えられました。ご協力誠に有り難う御座います。

皆様方の
ご祈念の
ご多幸を
申し上げます

七難即成七福即生



平成二十九年 丁酉

諸々の難をとり去り、数々の福をとり込めますよう

編集後記

自分で決めた日程とは言え、昨年の11月は13日に山名会の行事、23日に父の一周忌と私にとっては短い期間に大きな行事が続ぎ、常に何かに追いつてられているような11月でした。

それでも各行事とも周囲の皆さま方のご協力を戴き、何とか無事に終えることができ、ホッと一息ついて居ます。

山名会総会報告の今会報も、昨年12月中に発行したかったのですが、総会会場の華頂ホルの使用料請求書の到着を待ち会計を締めてからと思っていましたら、年を越してしまいました。

会報には第23回山名会総会会計の中間報告を載せていますが、華頂ホルの使用料を6万円と仮定して計算したものですので、今後若干数字が変動します点、お許しく下さい。

年も明けて平成29年となりました。今のところこの冬も降雪が少なく、穏やかなお正月を過ごさせて戴きました。この調子で1〜2月と過ごせばありがたい限りです。

この一年が山名会の活動が更に充実した年となりますよう、会員に皆さま方のお力添えをよろしくお願い致します。